

## アフターサービスについて

- 使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントから引き抜いて、使用を中止し、速やかにお求めになった販売店またはお客様ご相談センターへご連絡ください。  
ご連絡されるときは、お買い上げの時期および器具の型番をお知らせください。
- 補修用性能部品の保有期間は生産打ち切り後5年です。  
注) 性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

### ■ 交換用サプライ品

製品型番	ヒーター 10本入	フッ素樹脂 絶縁シート 5枚入	フッ素樹脂 絶縁粘着テープ 定寸 5枚入	消耗品交換セット ヒーター フッ素樹脂絶縁シート フッ素樹脂絶縁粘着テープ	各 2枚	圧着シリコンゴム 1本入
NL-452K	NPH-452	NPT-452	NPN-452	NPS-452		NPG-452
NL-602K	NPH-602	NPT-602	NPN-602	NPS-602		NPG-602

※お求めは弊社公式オンラインストアまたは、お買い上げの販売店へお申し付けください。

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9 受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く
TEL: 048-931-3110	

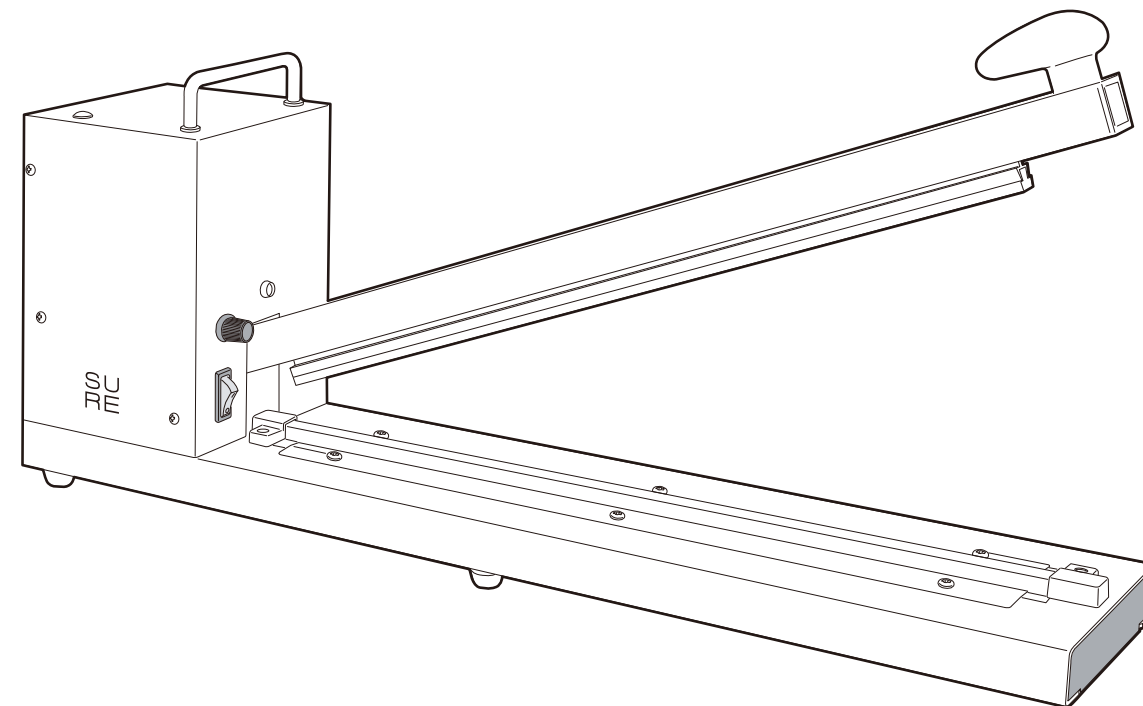
SURE

# ワンランク上のシーラー NL-452K/602K

卓上シーラー長尺タイプ

## 取扱説明書

このたびはシュア卓上シーラー長尺タイプをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、安全上のご注意、使用方法、機器の知識などについて内容をご理解された上で正しくご使用ください。  
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に保管してください。



### 株式会社 石崎電機製作所

本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15	東日本営業所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031	西日本営業所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893	公式ホームページ  <a href="http://www.sure-ishizaki.co.jp">www.sure-ishizaki.co.jp</a>
-----------------------------------	---	--	---

01~03	安全上のご注意	10	故障かな?と思ったら
04	各部の名称	10	仕様
05	ご使用方法	裏表紙	アフターサービスについて
06~09	保守点検		

# 安全上のご注意(その1)

ご使用前に、注意「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

## 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

## 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に注意してお読みください。



**禁止(してはいけないこと)を示します。**  
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。



**強制(必ずすること)を示します。**  
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

## 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理を行わない。また改造はしない。  
感電、漏電、異常動作による事故やけがの原因になります。



分解禁止

火薬・揮発性引火物、燃えやすい物のあるところでは使用しない。  
爆発、発火の原因になります。



禁止

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。  
・電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。  
・コゲくさい臭いがする。  
・電源コードやプラグが異常に熱い。  
などの症状が出たら、すぐに販売店または「お客様ご相談センター」へ点検・修理を依頼してください。



必ず行う

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。  
やけど、感電、けがの原因になります。



禁止

ヒーター部にドライバーなどの金属物で触れない。  
感電の原因になります。



禁止

水中で使用したり、水につけたり、水をかけたりしない。  
ショート、感電の原因になります。



禁止

100Vのコンセントを単独で使う。  
他の器具と併用した分岐コンセントは発熱して発火、やけどの原因になります。



必ず行う

差込プラグは根元まで確実に差し込む。  
差し込みが不完全ですと感電や発火の原因になります。



必ず行う

## 注意

本器に定められた使用目的(ビニール袋の溶着など)以外では使用しない。  
取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



禁止

使用時以外は差込プラグを必ずコンセントから抜く。  
けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、誤作動、発火の原因になります。



必ず行う

電源コードや差込プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
感電、ショート、発火の原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。



ぬれ手禁止

フッ素樹脂絶縁シートが破損したまま使用しない。  
感電、やけどの原因になります。



禁止

通電中に本器を移動したり、傾けたり、前後に激しく動かしたりしない。  
やけど、落下によるけがの原因になります。



禁止

使用中や使用直後はシール面に触れない。  
シール面は高温のため、やけどの原因になります。



接触禁止

保管するときは必ず差込プラグをコンセントから抜く。  
けが、やけど、絶縁劣化による感電、漏電、誤作動、火災の原因になります。



禁止

交流100V以外では使用しない。  
火災、感電、故障の原因になります。  
※本器は日本国内、AC100V専用です。



禁止

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込プラグを持って引き抜く。  
感電、ショート、故障の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。  
コードの異常発熱や破損により発火、感電、けが、やけどの原因になります。



禁止

圧着レバーとシール面の間に腕や指を挟まない。  
やけど、けがの原因になります。



禁止

ヒーターやフッ素樹脂絶縁シートの交換のときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行う。  
感電、やけどの原因になります。



プラグを抜く

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。  
発火の原因になります。



禁止

落下したり、破損した場合は差込プラグを抜き、保守点検を行う。故障や異常がある場合は使用を中止し、修理を行う。  
感電、やけどの原因になります。



必ず行う

## 安全上のご注意(その2)

### お願い

シール作業の前に、必ず同等の袋などでシールテストを行い設定の確認をしてください。

タイマーの通電時間、溶着具合を確認してください。材質、厚さ、重ね枚数によってはシールできない場合があります。

フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは傷んだまま使用しないでください。

ヒーターが断線したり、シールが不安定になりきれいにできなくなります。

傷んだヒーターは取り付けしないでください。

折れたり欠けたりしている場合は、本器の故障や断線などの原因になります。

ヒーター、フッ素樹脂絶縁シート、フッ素樹脂絶縁粘着テープ、圧着シリコンゴムは消耗品です。

ご使用前に必ず確認し、消耗している場合は新品と交換してください。

圧着レバーの圧着シリコンゴムの表面、シール面はつねに清潔にしてください。

ゴミ、汚れなどの付着物、傷、へこみなどがあるとききれいにシールができません。

連続使用の場合は定期的に本器を休ませてください。

内部機器(トランスなど)が発熱し、本体が熱くなります。各 부품の寿命も著しく低下しますので本体が冷めるまで休ませるようにしてください。

必ず定期点検を実施してください。

使用頻度約30,000回~50,000回または1年に1度を目安としてください。

### 注意事項

使用開始前に必ず設置場所、本体各部の点検を行い、最後に通電テストをして、異常がない事を確認してください。

万が一異常がある場合は、修理技術者の方が修理を行うか、お買い上げ店、又は弊社「お客様ご相談センター」にご連絡ください。

#### 使用上のポイント

- 通電時間の設定は材質、厚さなどによりタイマーで設定してください。  
※タイマーの目盛りは、秒目盛りではありませんのでご注意ください。
- 作業の際、シールランプが消灯した後、2~3秒間圧着レバーを押し下げた状態で保持し、冷却してください。  
冷却時間がない、又は少ないとシールがきれいに仕上がりにません。
- 本器のシール面と圧着シリコンゴム表面は常にきれいな状態にしてください。  
汚れているとシール面がきれいに仕上がりにません。

**△注意** ヒーターは各機種に合わせた専用設計になっていますので、入れ替えての使用はできません。  
巻末の交換用サブライ品の表に従い、メンテナンス時の交換の際は、適切な部品をご使用ください。

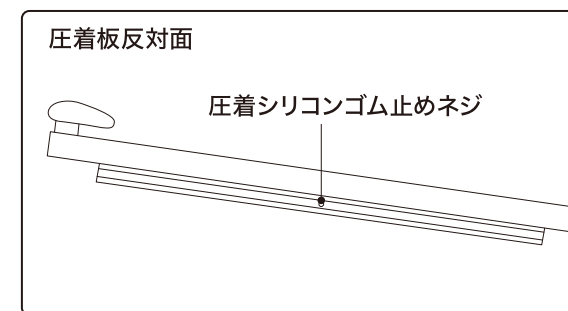
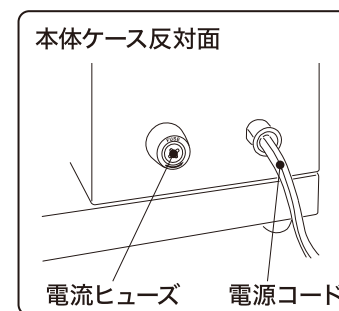
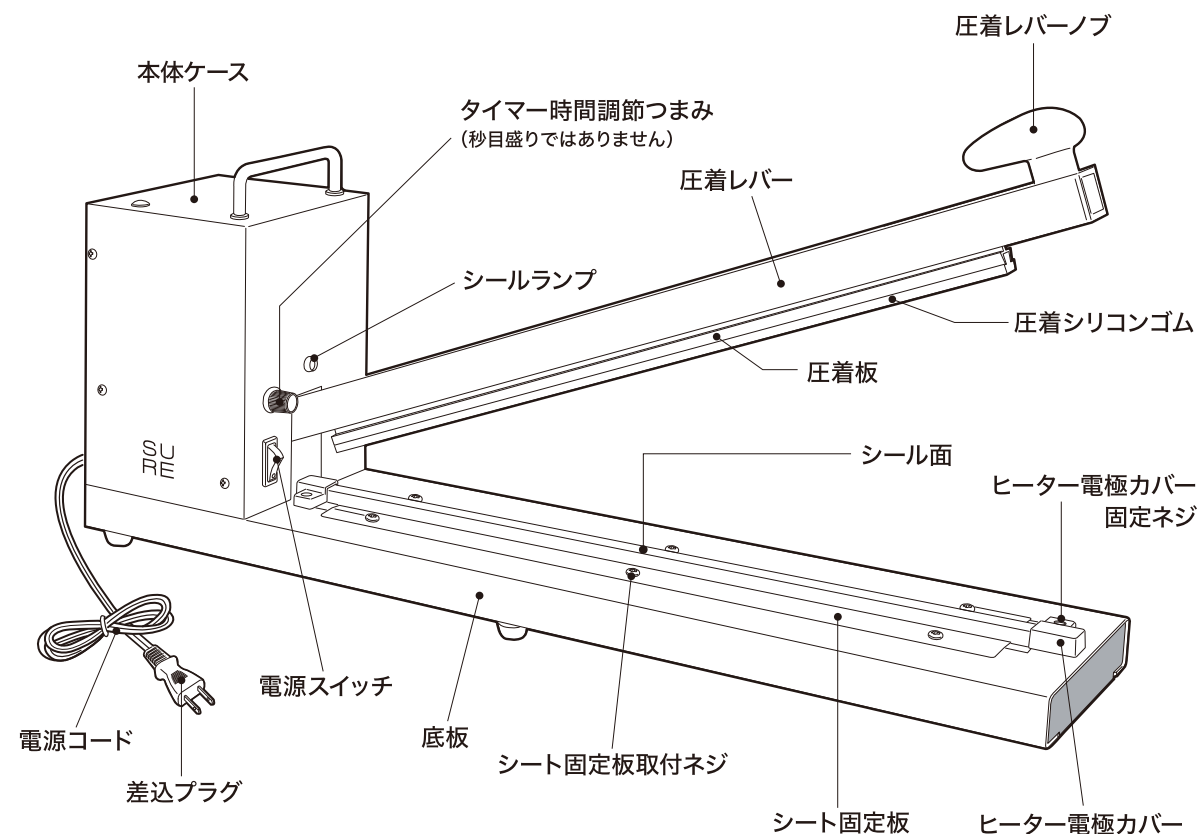
#### 使用するフィルムについて

- 本器は瞬間的に電流を流し、ヒーターを発熱させビニールフィルムを熱溶着する機器です。  
溶断可能なビニールフィルムの厚さは右の通りです。

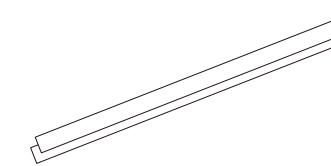
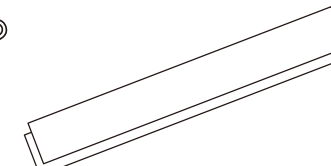
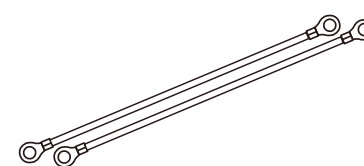
フィルム機種名	ポリエチレン(PE)	ポリプロピレン(PP)
NL-452K	0.6mm以下	0.4mm以下
NL-602K		0.3mm以下

※注意: 数値は2枚以上かさね合わせた合計の厚さです。

## 各部の名称(その1)



#### ■付属品(NL-452K/602K 共通)



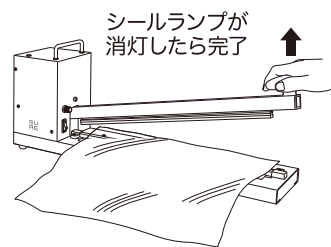
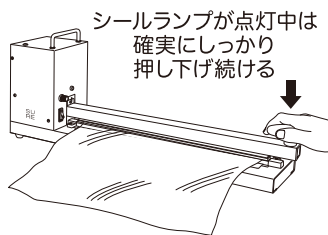
# ご使用方法

## 1 準備

01. 本器を安定したテーブルなどの上に置きます。
02. 差込プラグをコンセントに差し込みます。  
コンセントは10ページの「仕様」に記載されている電圧、電力が確保できるものを単独で使用してください。  
差込プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。

## 2 基本操作

01. タイマー時間調節つまみでシール時間を設定します。  
シールする袋の材質や厚さなどに合わせてください。(3ページ参照)
02. 電源スイッチを入れます。  
電源スイッチが点灯します。
03. 袋のシールする部分がシワにならないように、本器のシール面に置きます。
04. 圧着レバーノブを持って、圧着レバーを押し下げます。  
片手で袋を押さえ、もう一方の手で行ってください。
05. 圧着シリコンゴムが袋を押さえてから、更に押し下げると「カチッ」と音がして、シールランプが点灯します。  
レバーはしっかり下まで押し下げてください。  
シリコンゴムが袋を押さえてからは途中で止めずに一気に押し下げてください。
06. シールランプが消灯したら、圧着レバーを一番下まで押し下げた状態で更に2~3秒間保持します。  
途中でレバーを上げてしまうとしっかりシールできません。
07. 圧着レバーを上げ、袋を取り出します。  
次の作業まで20秒以上の間隔をあけて作業してください。  
短い間隔で連続運転をしますと、シール状態が悪くなったり、本器が高温になり機器の故障や事故、けがの原因になります。必ず作業間隔を開けて作業を行ってください。



### ポイント

圧着レバーを押し下げる際は、力を入れて確実にしっかりと押し下げてください。  
また、シールランプが消灯後、すぐ圧着レバーを上げてしまうと、綺麗にシールできません。  
必ず消灯後2~3秒間押し下げた状態を保持してください。

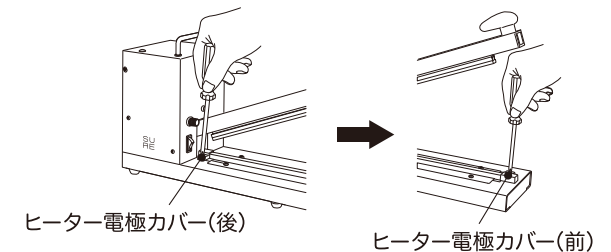
# 保守点検(その1)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

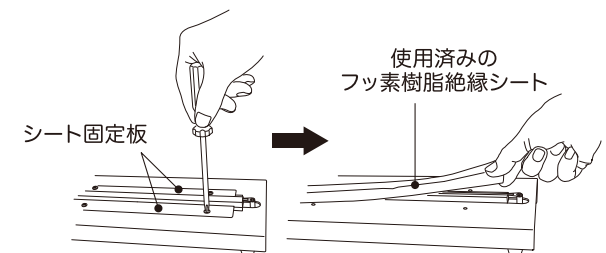
## A フッ素樹脂絶縁シート交換

### ■フッ素樹脂絶縁シート取り外し

01. ヒーター電極カバー固定ネジを外し、ヒーター電極カバーを取り外します。(前、後)

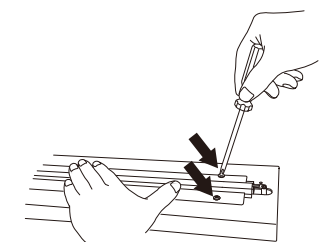


02. シート固定板取付ネジを外して、シート固定板を取り外し、使用済みのフッ素樹脂絶縁シートを取り外します。

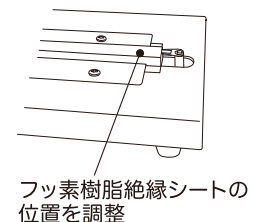


### ■フッ素樹脂絶縁シート取り付け

01. フッ素樹脂絶縁シートをヒーターの中央部に置き、シート固定板をシート固定板取付ネジで本体に軽く取り付けます。  
※フッ素樹脂絶縁シートが動く程度に軽く締めてください。

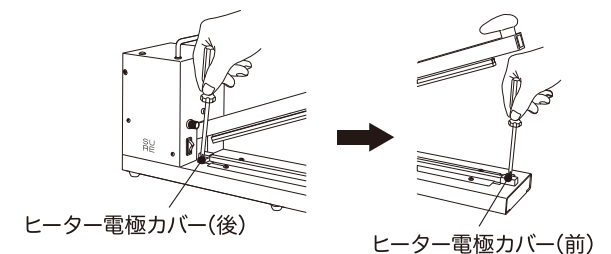


02. フッ素樹脂絶縁シートの位置を調整します。  
※端子にかかる程度で、前、後同じ出張り量にしてください。



03. フッ素樹脂絶縁シートがずれないように注意しながら、ネジを締め付けます。

04. ヒーター電極カバーを取り付け、ヒーター電極カバー固定ネジで締め付けます。(前、後)



## 保守点検(その2)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

### B ヒーター交換

#### ■ヒーター取り外し

01. フッ素樹脂絶縁シートを外します。(6ページ参照)

02. 本体前側のヒーター端子をヒーター電極端子から外します。

- ヒーター電極端子はバネになっていて、ヒーターを引っ張っている状態です。マイナスドライバーなどでヒーター電極端子を内側へ押し込み、ヒーター端子を外してください。
- ヒーター端子を外した後、ヒーター電極端子をゆっくりと定位置まで戻してください。急に支えを外すと、勢い良く戻り、外れてしまう場合がありますので注意してください。

03. 圧着レバー根元側のヒーター端子をヒーター電極端子から外し、ヒーターを取り外します。

#### ■ヒーター取り付け

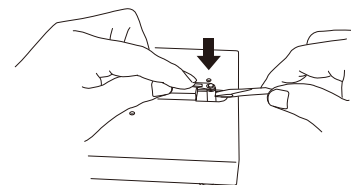
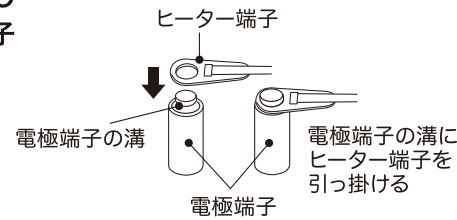
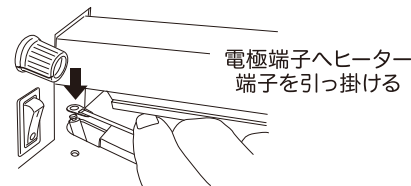
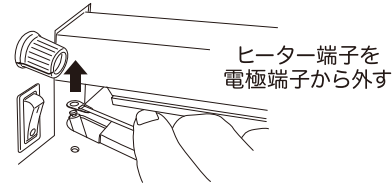
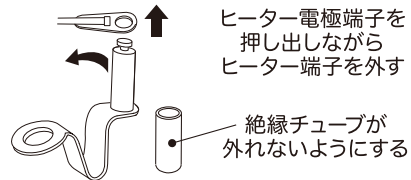
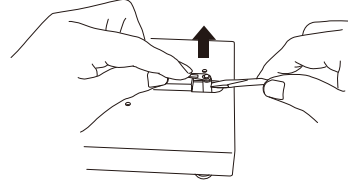
01. 圧着レバー根元側のヒーター電極端子へヒーター端子を引っ掛けます。

02. 前側のヒーター電極端子をマイナスドライバーなどで押し出ししながらヒーターを引っ張り、ヒーター端子をヒーター電極端子の溝へ引っ掛けて取り付けます。

03. ヒーターの張り状態を確認します。折れ、傷、曲がりなどなく、フッ素樹脂絶縁粘着テープの中心に沿って均等に取り付けられていることを確認します。

04. フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。(6ページ参照)  
ヒーター電極カバーを取り付けます。(前、後)

ヒーターを前に引っ張りながら  
電極端子を押し込み、ヒーター端子を外す



### C フッ素樹脂絶縁粘着テープ

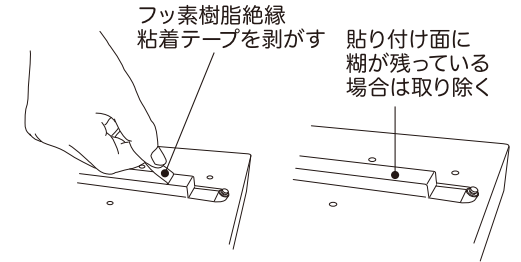
#### ■フッ素樹脂絶縁粘着テープ取り外し

01. フッ素樹脂絶縁シートを外します。(6ページ参照)

02. ヒーターを外します。(7ページ参照)

03. フッ素樹脂絶縁粘着テープを本体から剥がしとります。

貼り付け面にフッ素樹脂絶縁粘着テープの糊などが残っている場合は、きれいに取り除いてください。



#### ■フッ素樹脂絶縁粘着テープ取り付け

01. フッ素樹脂絶縁粘着テープ貼り付け面に糊の残りや異物がないようにきれいにします。

02. 貼り付け面の上面に対して前後ともに5mm以上余分があるようにし、その端面に折り返して貼り付けます。

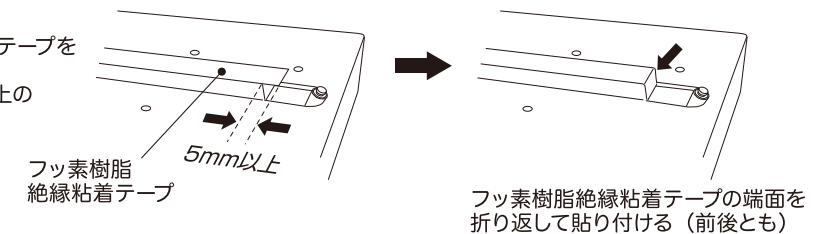
※必ず余分を持たせてください。

※貼り付け面の幅が10mmに対して、フッ素樹脂絶縁粘着テープは13mmです。

貼り付け面を全てかぶせて貼り付けてください。

※途中で折れたり、空気などが混入したり、シワにならないよう注意してください。

フッ素樹脂絶縁粘着テープを  
貼り付け面に貼る時、  
前後ともに5mm以上の  
余分を持たせる



03. ヒーターを取り付けます。(7ページ参照)

04. フッ素樹脂絶縁シートを取り付けます。(6ページ参照)

・フッ素樹脂絶縁粘着テープは、指定の物をご使用ください。

・長いものを切断して使用する場合は、本体の貼り付け面に対して、前後とも5mm以上の余分が出る長さに切断してください。

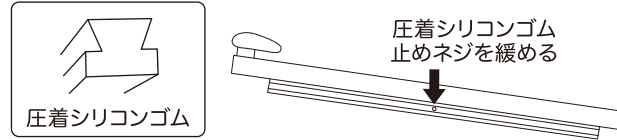
## 保守点検(その3)

■作業は必ず差込プラグをコンセントから抜き、使用直後の場合は本器が十分に冷めてから行ってください。

### D 圧着シリコンゴム交換

#### ■圧着シリコンゴム取り外し

01. 圧着シリコンゴム止めネジを緩めます。

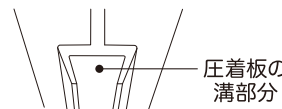


02. 圧着シリコンゴムの片側の端をつまみ、そのまま引っ張り、取り外します。

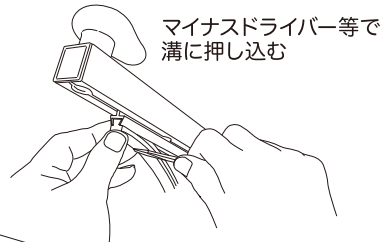


#### ■圧着シリコンゴム取り付け

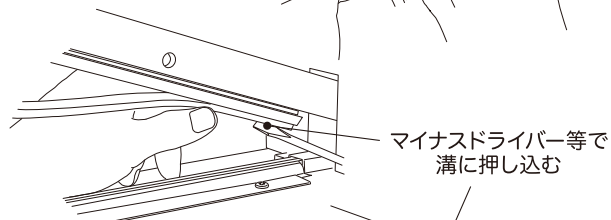
01. 圧着板の溝部分に圧着シリコンゴムを差し込みます。



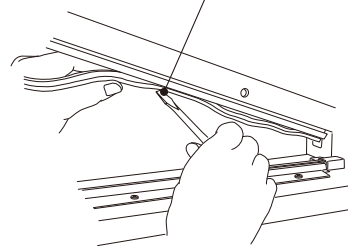
02. 圧着板の前側に圧着シリコンゴムの端を合わせてマイナスドライバー等で溝に押し込みます。



03. 圧着板の後側(根元)に圧着シリコンゴムの端を合わせて同様に溝に押し込みます。

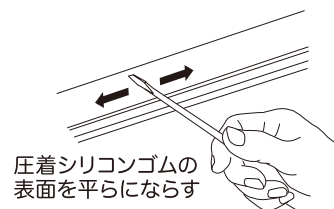


04. 圧着板の中央部に圧着シリコンゴムの中央部を合わせて、同様に溝に押し込みます。

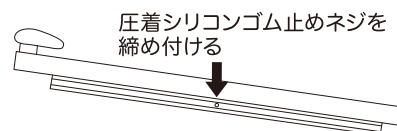


05. 圧着板の前側と中央部、中央部と後側の圧着シリコンゴムも同様に溝に押し込みます。

06. 圧着シリコンゴムの表面をドライバーの軸部などで力を入れて平らにならします。  
圧着シリコンゴムの両端が圧着板の端部と同じ位置になるよう注意してください。



07. 圧着シリコンゴム止めネジを締め付け、圧着シリコンゴムを固定します。



## 故障かな?と思ったら

電源コードを確認後、コンセントに差し込み下記の故障状況を確認してください。  
部品交換を行うときは、必ず差込プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	圧着シリコンゴムを 押し込んでも通電しない	ヒーターランプが 切れず、ヒーターが 焼ける	点灯するがヒーターが 熱くならない	ヒーターランプは 断線しやすい	ヒーターが 断線しやすい	原因・処置
電源コード	●					断線している場合は修理に出してください。
差込プラグ	●					プラグの根元を確認し、異常がある場合はお客様相談センターへご連絡ください。
電源スイッチ	●					電源スイッチを確認し、異常がある場合は修理に出してください。
電流ヒューズ	●					修理に出してください。 点検、修理後に部品交換となります。
タイマー	●	●				ヒーターランプが点灯しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
タイマー時間調節つまみ		●		●	●	ヒーター時間を再度調整してください。
ヒーター			●	●	●	ヒーターの上下や、キズを確認してください。
フッ素樹脂絶縁粘着テープ			●	●		フッ素樹脂絶縁粘着テープを交換してください。
ヒーター電極端子			●	●		ヒーター端子との接触部分を、ペーパーなどで磨くか、交換してください。
圧着シリコンゴム				●	●	キズ、へこみがあれば交換してください。
フッ素樹脂絶縁シート					●	汚れ、穴あきの場合は交換してください。
作業状態				●	●	作業間隔と、冷却時間が短いためです。冷却時間を多く取ってください。
本体温度				●	●	異常に熱い場合、本体を冷ましてください。

※ 修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理を行わないでください。

## 仕様

型番	NL-452K	NL-602K
定格	100V-920W 50/60Hz	100V-1130W 50/60Hz
シール寸法	幅3×長さ450mm	幅3×長さ600mm
タイマー時間	0.5~2.2sec.	0.5~2.2sec.
製品寸法(約)	幅122×奥行650×高さ300mm	幅122×奥行800×高さ350mm
質量(約)	8.9kg	10.9kg
付属品 <sup>※1</sup>	ヒーター 2本	フッ素樹脂絶縁シート 2枚 フッ素樹脂絶縁粘着テープ 2枚

※本書に掲載のイラストと実際の製品には若干の相違がありますので、あらかじめご了承ください。 ※1 質量に電源コードの重さは含まれません。